

平成 21 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 北陸ミサワホーム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高見 幸三
 (コード番号：1763 JASDAQ)
 問合せ先 取締役総務部長 林 諭高
 (TEL. 076-222-1558)

貸倒引当金の計上及び平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり貸倒引当金を計上いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 5 月 15 日の決算発表時に公表いたしました平成 21 年 3 月期連結及び個別の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 貸倒引当金の計上について

第 3 四半期からの急激な景気後退を勘案し、債権に対する担保価値と回収可能性の判定を行った結果、79 百万円を営業外費用の貸倒引当金繰入額として計上することといたしました。

2. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経 常 利 益 | 当期純利益 |
|---|-------|--------|---------|--------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 15 日公表) | 7,000 | 65 | 90 | 65 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 6,200 | 0 | △45 | △90 |
| 増 減 額 (B-A) | △800 | △65 | △135 | △155 |
| 増 減 率 (%) | △11.4 | △100.0 | △150.0 | △238.5 |
| 前期 (平成 20 年 3 月期通期)実績 | 6,422 | △4 | 25 | △628 |

3. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経 常 利 益 | 当期純利益 |
|---|-------|-------|---------|--------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 15 日公表) | 6,100 | 39 | 58 | 50 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 5,200 | 3 | △40 | △81 |
| 増 減 額 (B-A) | △900 | △36 | △98 | △131 |
| 増 減 率 (%) | △14.8 | △92.3 | △169.0 | △262.0 |
| 前期 (平成 20 年 3 月期)実績 | 6,000 | 8 | 39 | △643 |

4. 修正の理由

(1) 連結業績予想修正理由

金融危機に端を発する国内外の景気の急激な後退により、個人消費が大幅に落ち込み、住宅業界を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。

このような状況下、売上高につきましては、平成20年11月4日に公表した第2四半期決算短信の連結業績予想に関する定性的情報に記載した店舗などの大型物件は受注することができましたが、第3四半期より個人住宅等の受注が減少しているため当初の計画を下回る見込

みであります。

営業利益は、建設コストや販売費及び一般管理費の削減に努力してまいりましたが、売上高の減少を補うことができず予想を下回りました。

また経常利益につきましては、第3四半期からの急激な景気後退を考慮し、債権の回収可能性を検討し、営業外費用として貸倒引当金79百万円を繰り入れたため、予想を下回る見込みです。

当期純利益につきましても、第1四半期に特別損失として計上した、たな卸資産の低価法適用による損失50百万円と減損損失8百万円を補うことができない見込みとなったため、予想を修正させていただきます。

(2) 個別業績予想修正理由

売上高、営業利益及び経常利益の修正理由は連結修正理由と同様の要因によるものです。

また当期純利益につきましては、第1四半期に特別損失として計上したたな卸資産の低価法適用による損失44百万円を、補うことができない見込みとなったため予想を修正させていただきます。

※ 上記業績予想につきましては、現時点における合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上